

第7号

2019年4月15日
湯本学区ふるさと
交流実行委員会

山の温泉便り

湯本学区のふるさと交流情報誌

春がきたあ！

下前 福寿草の群生 (2019年3月撮影)

湯本学区ゆかりの皆さんお元気ですか。全国的には初夏でしょうが、ここ西和賀では今、近年になく早い春を迎えています。春は一年の中で最も高揚感に満ち溢れる季節で、老いも若きも心ウキウキです。そんな西和賀の春を最も象徴するのがカタクリの花ではないでしょうか。道路の両側は勿論あちこちに群落があり短い春を謳歌します。町の花にも指定され、町公式キャラ「カタクリン子ちゃん」も活躍中です。皆さんも昔カタクリの葉をおひたしで食べた経験はありませんか。花言葉は「初恋」だそうで、うつむくように咲く姿から恥じらいで気持ちをつましく伝えられない切ない乙女の姿を連想したものとか。まるで西和賀出身の皆さんとダブって感じられます。その昔、源義経主従が兄頼朝に追われて奥州平泉に逃れ秀衡に再会したのは一一八七年の旧暦2月、きつと辺り一面のカタクリに癒されただろうナと想像してしまいます。

湯本学区ふるさと交流

実行委員会

会長 湯沢 正



湯 田

湯田の雪まつり 盛大に開催！

みなさんこんにちは。いかがお過ごしですか？西和賀町は今朝（3月24日）、15 cm 程の雪が降りました。「彼岸の口隠し」でしょうか。この時期に必ずと言っていいくらい振る「春の雪」です。

今回は2月9日に行われた「湯田の雪まつり」について紹介します。

湯田地区では、西和賀町で行われる「雪あかりにぎにしわが」にあわせて「雪まつり」を毎年開催しています。今年で28回目です。町全体が雪あかりの静寂な雰囲気の中、湯田地区だけはにぎやかで楽しい会場になっています。大型できれいな雪あかりが会場の正面にそびえ立ち、地元の有志や露天商の人達で作る「屋台村」、歌や踊り、そして大餅まき大会の後は花火でフィナーレです。つらい寒い冬の一夜だけでも楽しい祭りになりたいと地区民張りきって開催しています。皆さんもぜひ一度「湯田の雪まつり」においでください。

文：高橋 悟さん



会場正面に作られた巨大な雪あかり。

高さはなんと5mほど！

巨大な雪の壁に美しい造形を掘り上げます。



春風のしらべ



まちなかミニコンサート



ここ、湯本のまちなか交流館は、町民が誰でも利用できる交流や活動の施設として、平成30年7月にオープンした施設です。春の優しい光が射す3月26日に、ヴァイオリンとピアノ、歌のミニコンサートが行われました。世話人は桜井弘志さんと、町長の細井洋行さんです。

歌とピアノは雑古伊津美さん、ヴァイオリンは森下保子さんです。お二人は大阪在住で、今は東北旅行の真っ最中ですが、ボランティアでふれあいコンサートが出来ればとのことで、今回の開催になりました。

会場には50人を越えるお客さんがいになり、となりの湯本保育園からも小さいお友達が数名来てくれて、和やかな雰囲気の中、コンサートが行われました。アンパンマンの歌、となりのトトロなど子供たちが喜ぶ曲から始まり、北国の春、川の流れるようになど、誰でも口ずさめる名曲が流れ、本格的な生の演奏と歌声に、観客たちは、魅了されていました。

一時間ほどのコンサートでしたが帰るお客さんは皆笑顔で、見送りに立つお二人に、口々に感謝の言葉を贈っていたのが印象的でした。

ありがとうございました！



ざこいつみ
雑古伊津美さん

大阪音楽大学卒業。神戸を中心に活動。多くの学校や施設でコンサートを行い、「歌のお姉さん」としても活躍中。

やすこ
森下保子さん

大阪音楽大学卒業。宝塚歌劇団の専属オーケストラに所属。日本弦楽指導者協会・日本音楽療法学会会員。



間近で聴くヴァイオリンの生演奏！



▲「クラブ銀河」で生演奏を披露する「シルバーサウンズ」。昭和 45 年頃撮影。

温泉街とバンド

Yumoto and Jazz band in the past

かつての夜の温泉街に響いていた歓声と音色。
当時の様子を知る 4 人が集まりました。

18 軒もの温泉旅館。それを取り
囲むようにクラブやキャバレーが
立ち並び、大勢の客が思い思いに
夜を楽しむ。時には店に入りきれ
ない客まで出るほどで：

時は昭和 30 ～ 40 年頃の高度経済
成長期。鉱山の鉱夫や、各地から
訪れるダム建設作業員で、湯本
の温泉街はたいへんな賑わいを見
せていた。

当時、ジャズバンド「シルバー
サウンズ」として活動していた高
橋さん、渡邊さん、熊谷さん、そ
して今も熊谷さんと共に吹奏楽団
「山の音楽隊」の一員として活躍
する家子さんに、その頃の話を見
聞ける事ができた。

バンド結成のきっかけは、とあ
る温泉旅館の社長。旅館の宿泊客
に喜んでもらうために、当時の北
上や水沢の流行を取り入れ、自分
の旅館でもバンドによる生演奏を
お客に提供するようになった。そ
こで演奏をしていたのが、彼ら「シ





わたなべきよみ
渡邊清見さん (74)
元「シルバーサウンズ」
のアルトサックス担当。



たかはしふくみ
高橋福美さん (78)
元「シルバーサウンズ」
のドラム担当。「居酒屋
銀河」の現マスター。



いえ かつ や
家子勝也さん (67)
吹奏楽団「山の音楽隊」
のドラム担当として、西
和賀を中心に活動中。



くまがいとみ お
熊谷富夫さん (75)
元「シルバーサウンズ」
のテナーサックス担当。
山の音楽隊として活動中。



編集部より

当時の繁華街の様子のお思い出、記
録、写真などがありましたら、ぜひ
編集部までご寄せください！



▲ 向かって右側に座っているのが現「居酒屋銀河」のママ。

ルバーサウンズ」だったのだ。
おかげで旅館は大盛況。収容し
きれなくなったお客を囲うように
飲食店やキャバレーが建ち始め、
「シルバーサウンズ」も「クラブ
銀河」に移り、そこで演奏をする
ようになった。昭和45年頃にキャ
バレーとして改装した「クラブ銀
河」にはステージが設置されてお
り、その上に立って、お客に流行
の曲を披露していたのだという。
「クラブ銀河」は平成8年に改



▲ 現在の「居酒屋 銀河」。かつて
は「クラブ銀河」として営業して
いた。

装され「居酒屋銀河」となり、今
もなお人々に夜の憩いの場を提供
し続けている。当時を懐かしむ4
人の話は途切れる事なく、その笑
顔には過去の面影が見て取れた。

▼下部写真

居酒屋銀河に掲示されているコルクボード。あれから何十年
経った今も、店主である高橋さんの心は音楽と共にある。

湯本学区の人

CASE10

高橋 明さん

下前在住。様々な農産加工品を作る農業の達人。平成22年に「やまに農産㈱」を設立。社長は奥さんの匡久子さん。

西和賀特産のワラビを経営になんとか取り入りたい、でも自分たちで採って売るには限界がある。ならばお客さん自身に採ってもらえば良いと思いついたのが、観光ワラビ園と始めるきっかけとなった。平成14年から準備期間5年を要し、平成19年春にオープンした。現在は観光用のワラビ園3ha、ワラビの根を育てるワラビ粉用の畑50aが、春の日差しの下で雪溶けを待っている。

槻沢の観光ワラビ園

希少なワラビ粉

ワラビ粉（デンプン）の精製を始めたのは平成19年頃。高橋さんの祖母の時代、冷害の時にはお米の代替とされたというワラビ粉。その原料になるワラビの根は一年で6倍、7倍に成長するという。泥を洗い、細かく砕き、高速ミキサーで粉碎し、土やゴミを取り何回も精製し、乾燥させ、ようやく純粋なワラビ粉が出来る上がる。しかし、採取できるワラビ粉は、根の重さのなんと5%だけ。「世に出ているワラビ餅の大半は、安価なジャガイモの片栗粉やサツマイモデンプンで作られている。純粋なワラビ粉だけのワラビ餅は、西和賀町だけ！」と明さんは、自信を持って言う。それを地域おこしに利用しよう、と、地元の菓子店3軒と提携して「ワラビ餅の里づくり協議会」を立ち上げ、本物のワラビ餅を普及させていきたいと意気込む。

◆ つきざわワラビ園

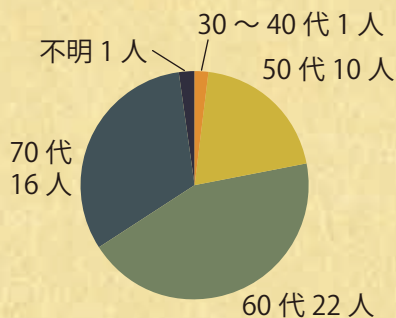
- 【開園期間】 5月中旬～7月第1日曜日
※ホームページにて告知
- 【開園日】 火～日曜
日曜以外は要予約
- 【開園時間】 午前9時～午後2時
- 【電話】 問い合わせ・予約専用番号
080-8209-7124
- 【住所】 和賀郡西和賀町槻沢 27-116-2
- 【URL】 <http://www.yamani.takahashid.com>



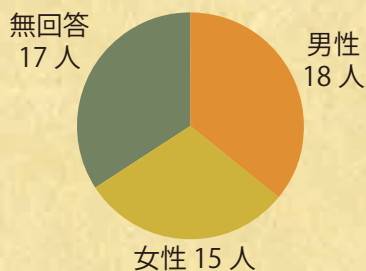
ふるさと交流事業地域情報誌に関するアンケート

西和賀町は、情報誌の波及効果を把握し、今後の活動に活かしていくためにアンケート調査を実施しました。山の温泉便りをご覧いただいている方 681 名全員に依頼し、そのうち 50 名の方から回答を頂きました。ここに一部をご紹介します！

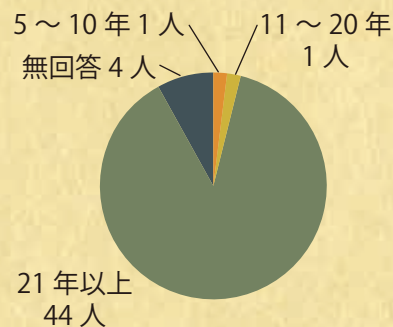
年代



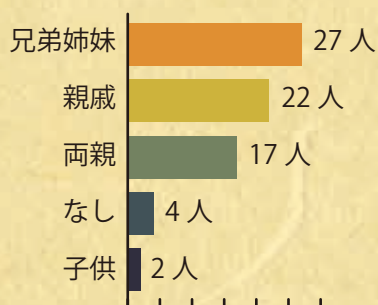
性別



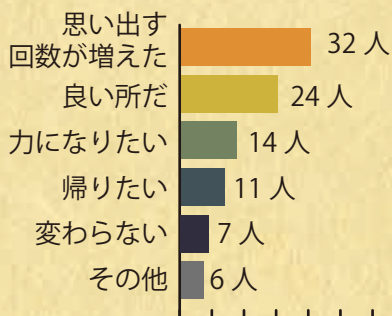
町を離れてから



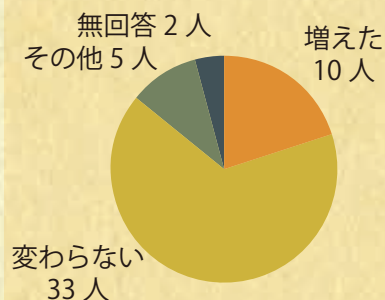
町に住む家族



情報誌を読んで



帰省の回数



- ・ 西和賀の『今』をこの情報誌で感じています。両親も西和賀を離れ、帰省の機会も減りましたが、またいつか行きたいです。ふるさとのために何か貢献できないかと模索しています。
- ・ いつも楽しく拝読しています。情報誌は、現在は学区内の人に届けられていますが、もし可能であれば西和賀町のホームページなどで、他地区にも拝読できれば嬉しいです。
- ・ 地域を離れてから長いため、地名を忘れかけていました。情報誌を見て懐かしく思い出します。
- ・ 離れた年数が長いため、知っている人たちの写真や記事があると懐かしく感じます。

- ・ 西和賀の企業案内や、特産品の特集をしてほしい。
- ・ YouTube をもっと活用してほしいです。
- ・ ふるさとが雪国なのは自慢ではあるが、高齢者になると大変だと感じている。
- ・ 若い人たちの努力が良くわかります。子供たちの元気な様子も見えて嬉しく感じています。西和賀頑張れ！寒さに負けるな！

編集部より

他にもたくさんのご意見、ご感想をいただきました！今後の活動と誌面作りに役立てて行きたいと思います。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました！

湯 本 学 区 の お 店

shop!

地区にあるお店を紹介します。ぜひお越しください！



◆『大丸食堂』の ぜんまい焼きそば

大丸食堂さんは、テレビなどで何度も取り上げられたり、芸能人も来店したり、小説に登場したりもする地元の人気店。

先代であるおじいさんおばあさんが作る乾燥ゼンマイを使って何かメニューは出来ないかと、試行錯誤を重ね、他にはない味を追及してできたのがこの「ぜんまい焼きそば」。

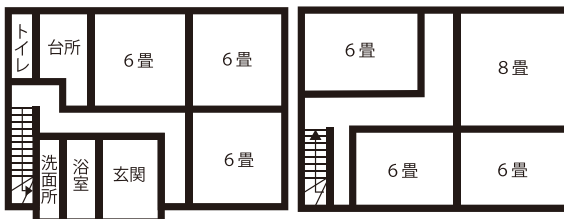
豚肉、もやし、人参、ニラにゼンマイの独特の食感と風味が加わり、味付けはなんとゴマ味噌味。ゴマ味噌のコクと、ケチャップの甘みが絡み合って、くせになる美味しさ。他では味わえないここだけの味を是非ご賞味下さい！その他、自家栽培の大きななめこがたっぷり入った「なめこそば」も絶品！！

-
- 【定休日】 月曜日
 - 【時 間】 昼 11:00～14:00
夜 17:00～20:00
 - 【駐車場】 店入り口前に4台分
 - 【電 話】 0197-84-2716
 - 【住 所】 和賀郡西和賀町
湯本30地割52-5

湯本学区周辺の 空き家情報 vol.3



No 3 湯本局前住宅



湯本郵便局まで徒歩2分。
詳細は、下記までお問い合わせください。

お問合せ先：高橋 和昭 0197-84-2143